

「SBI」グループ企業上場廃止や傘下ファンド運用失敗で **投資家から怒りの声**

実業界

1

The Analytical
Magazine
for Economics

2012

新年号

毎月1日発売

昭和27年2月28日第三種郵便物認可
毎月1回1日発行 平成24年1月1日発行 第995号

乳業トップ

「明治」の

学校給食牛乳で
セシウム検出するも
説明避ける問題姿勢

■「資生堂」重み増す国内不振に
答え無き漂流

■「オリンパス」買収疑惑で
露呈したボロボロ企業統治



無理な考え方や生き方を続けていると、口腔内にいろいろと不快な症状が現れてくる。

当コラムでも「口腔心身症」としていくつかの症例を示しご紹介したものだ。

本稿では、まずこの口腔心身症を例に、前号で少し言及した。病気を完成させない、という話を進めてみたい。

ストレスフルな偏った生き方を続けているとアゴ・顔面・口腔という局所だけでなく、その影響はカラダ全体にまで及ぶ。カラダだけでなく、心身共に不調をきたし、体調を崩して予期せぬ重篤な病気に体が蝕まれていくことになる。

口腔心身症も深刻な症状を呈する病気だが、しっかり治療をすることで、その影響がカラダ全体に及ぶことはなく、本来の（健康な）自分を

十 未病の憂い

歯科医が語る現代版養生訓

取り戻し易い疾患と言える。人間のカラダと機械を同列で論じてはいけないが、警告ランプが点滅している段階で、対処（治療）をすれば、ランプはグリーン（正常に）戻るのがある。

私は、患者さんに次の言葉を添えて口腔心身症の治療に当たることにしている。

「口腔心身症という病気は、無理な考え方や生き方がカラダを蝕み始めています。サイン、なんです。無理を修正するチャンス、なんですよ」と。

病気を完成させない、生き方とは

治療を開始した当初は、この私の言葉をいぶかした方も少なくない。病気で大変な思いをしているのに、**「チャンス」**とはナンダツ、という具合である。だが、治療を終える頃になると多く患者さんが、このチャンスという言葉の意味を理解し、健康を取り戻し、笑顔と共にクリニックを後にする。

病気を完成させない、ということについては二つのことを申し上げたい。

一つは、サインを見逃さず、治療することで病気の**「ドミノ倒し」**を阻止すること。

もう一つは、病気を完成させない努力に**「早すぎる」**ということはない、ということだ。

病気の**「ドミノ倒し」**を阻止するということを口腔心身症の例で申し上げると、最悪のケースとしてだが、（口腔心身症は）生死にかかわるいくつかの病気との関連性がすでに指摘されていることはあまり知られていない。

早期の治療で歯止めをかねば、あれよあれよという間に、病気の**「ドミノ倒し」**（深刻

化・全身疾患化）を招く。取り返しのつかない結果を生じさせないために、病気へのメカニズムを知ることがとても大切なことだ。

四十代から五十代という人生の大切な時期を迎える頃に、深刻な病気に罹ってしまう方が男女ともに増えているのが現代社会の特徴だ。

生死にかかわる複数の病気が若年化している事実は、**「社会災害」**と言い換えることもできよう。

ヒトは誰でも生涯健康で過ごしたいと願っている。

だが、そのささやかな願いが阻まれやすくなっているのが現代社会の現実である。

その現実には抗していく手立ての一つを最後にもう一度。

病気を完成させない努力に**「早すぎる」**ということはない。

末長く健康でいられるための、病気を**「完成させない」**生き方、術（すべ）を今後皆さんにお示ししたいと考えている。

顎関節症

顎関節症

長年歯科クリニック
亀井 英志
Kamei Hiroshi

ストレスは

見える！

すべては「噛みしめ」が原因だった

気がつくとも歯を食いしばっている。心当たりの方は、当コラムの亀井医師の著書『すべては「噛みしめ」が原因だった』をお読みいただきたい。未病、の原因をまとめた良書です。

亀井英志（かめいひろし）

1951年群馬県前橋市生まれ。76年東京歯科大学卒。都立病院歯科口腔外科医を経て、84年より長栄歯科クリニック院長。臨床ゲノム医療学会理事。

